

普及活動情勢報告（平成 30 年 1 月分）

安芸農業振興センター

環境制御で収量 UP！ ～穴内支部園芸部園芸研究会ナス部会現地検討会・勉強会～



冬場とは思えんほど
実があるね～

12月19日、穴内支部園芸部園芸研究会ナス部会が、環境制御機器導入ほ場3カ所で現地検討会を、また穴内集出荷場で勉強会を開催し、17人の生産者が出席しました。

現地では厳寒期の温度管理や炭酸ガスの施用方法等について生産者同士で積極的に意見交換が行われました。勉強会では農業改良普及課が蒸散を促進させる湿度制御方法について指導し、気孔を開かせることの重要性について理解してもらうことができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、部会活動や個別巡回を通して環境制御による収量増加を図ります。

虫を無視せずしっかり対策しよう！！ ～芸西ナス・ピーマン部会合同勉強会～



病害虫の防除対策について
熱心に聞く生産者

12月19日、JA土佐あき園芸研究会芸西支部ナス部会とピーマン部会が合同勉強会をJA土佐あき芸西支所で開催し、部会員36人が出席しました。

農業改良普及課からは、ナスの病害とピーマンのウイルス病対策について指導しました。また、農業技術センターの昆虫担当を招き、新たにナスでも被害が発生しているチャノキイロアザミウマの生理生態や防除対策を指導してもらいました。生産者からは、「粘着板の色の違いによって捕殺される害虫に違いはあるのか？」などについて質問があり、病害虫の防除対策への理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後も害虫対策に積極的に取り組み、ナス・ピーマンの品質・収量の向上に努めます。

炭酸ガス施用で増収を目指せ！ ～園芸研究会米ナス部会現地検討会・勉強会～



炭酸ガス施用の取り組みにつ
いて熱心に聞く生産者

12月22日、JA土佐あき園芸研究会米ナス部会が安芸市と安田町で現地検討会を、また安芸集出荷場で勉強会を開催し、炭酸ガス発生機を導入している3人を含む10人の生産者が参加しました。

農業改良普及課は、実証ほの調査結果の報告と炭酸ガス施用方法や生育診断による今後の栽培管理について指導しました。炭酸ガス発生機を導入していない生産者からは「炭酸ガスの設定濃度はどれくらいにしている？」などの質問があり、活発な意見交換を通じて炭酸ガス施用技術の取り組みに対する意識啓発ができました。

農業改良普及課は、今後も部会活動や個別巡回を通じて環境制御技術の普及を図り、収量増加に向けた栽培管理について指導します。

**炭酸ガス施用効果を出すにはどうすれば？
～芸東集出荷場ピーマン・シシトウ部会現地検討会・勉強会～**



どこに装置やダクトを
設置したらええやろねえ

12月27日、芸東集出荷場ピーマン・シシトウ合同部会が現地検討会を、また芸東集出荷場で勉強会を開催し、7人の生産者が参加しました。

現地検討会では、農業改良普及課室戸支所が各ほ場の耕種概要について説明し、生産者同士で炭酸ガス施用における設定濃度や灯油消費量、局所施用ダクトの配置について熱心に意見交換を行いました。また勉強会では、農業改良普及課室戸支所が環境制御技術普及推進事業の説明や、フザリウム立枯病対策について指導し、補助事業や病害対策への理解を深めることができました。

農業改良普及課室戸支所は、今後も環境制御技術や基本栽培技術について指導し、ピーマン・シシトウの品質および収量の向上を支援します。

役員会を開催しました ～奈半利町「百石ファーム」～



総会に向けて準備中

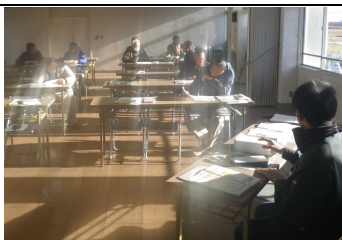
1月5日、百石ファーム倉庫で役員会を開催し、総会資料の内容について検討しました。

農業改良普及課は、取り組んでいる品目ごとに費目分けして収支を算出するよう指導するとともに作業時間等の内容について確認しました。

今回は農業改良普及課が収支内容について不備がないかを確認し、平成29年度の収支を明確にすることになりました。

今後、農業改良普及課は、総会に向けた支援とともに栽培を予定しているジャガイモの適期栽培管理ができるよう支援します。

飼料用米専用品種「夢あおば」の推進 ～稲作部会野根支部勉強会～



興味津々で説明を聞く生産者

1月11日、JA土佐あき稲作部会野根支部が勉強会を開催し、11人の生産者が参加しました。

農業改良普及課室戸支所からは、飼料用米の専用品種「夢あおば」の実証ほの調査結果を報告し、多収性について説明しました。平成29年産の「夢あおば」の収量が地区平均収量に比べて57%増となり、実証した生産者から「来年も栽培したい」という声が聞かれました。

農業改良普及課室戸支所は、今後も部会活動や個別巡回を通じて飼料用米の収量増加に向けた栽培管理を指導します。

環境制御技術導入でさらなる産地パワーアップを！～安芸管内の機器及び事業説明会～



多くの生産者が来場しました

JA土佐あきは、管内の市町村、関係業者、県と連携して、1月12日にJA土佐あき本所で「環境制御機器展示説明会」を、また15日に赤野・穴内地区、16日に安芸地区、17日に芸西地区、18日に中芸地区の各会場で「平成30年度環境制御技術普及促進事業説明会」を開催し、展示説明会にのべ約60人、事業説明会にのべ約90人が参加しました。

農業改良普及課は、事業要望者に対して説明会の周知とニーズに応じた機種・規模の選定などを個別指導しました。生産者からは、「リース期間中に故障した場合はどうなる?」、「前に出した要望書より機器を追加してもよいか?」、「この面積なら炭酸ガス発生機はどの大きさがよい?」等多くの質問があり、機器の導入に向けた意欲を高めることができました。

農業改良普及課は、関係機関と連携しながら、補助事業の円滑な推進を図り、環境制御機器を活用した栽培技術を普及します。

どんとこい！関西の花屋さん！！ ～若手トルコギキョウ生産者のPR活動～



他産地のトルコギキョウとは
ココが違います

1月17日、安芸市と芸西村の若手トルコギキョウ生産者6人が大阪市の城見ホールで開催された「高知の花展示商談会」に出展し、商談会には生産者3人が参加しました。

農業改良普及課は、花の展示方法についての提案や当日配布する資料の作成等の支援、また商談会当日は切り花の展示や花屋への資料の配付等を行いました。生産者らは、花屋に対して切り花や資料を活用して熱心にPRすることができ、数社の市場から出荷要請を受けていました。展示会終了後、生産者からは「花屋さんと直接やりとりができてよかった」、「次回機会があれば、他の生産者も誘って参加したい」といった前向きな声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も若手トルコギキョウ生産者の活動を支援し、担い手の育成とトルコギキョウ産地の発展を推進します。